

社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成



今後10年間の取組の方向性

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援します。

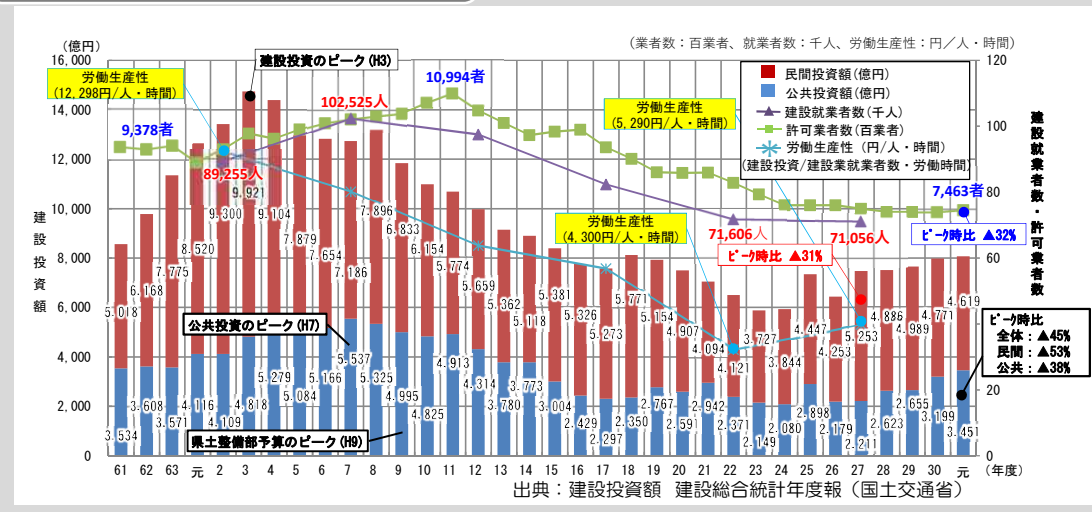
目指す将来像と現状のギャップと課題

1 就業者の減少や高齢化が進行する建設産業

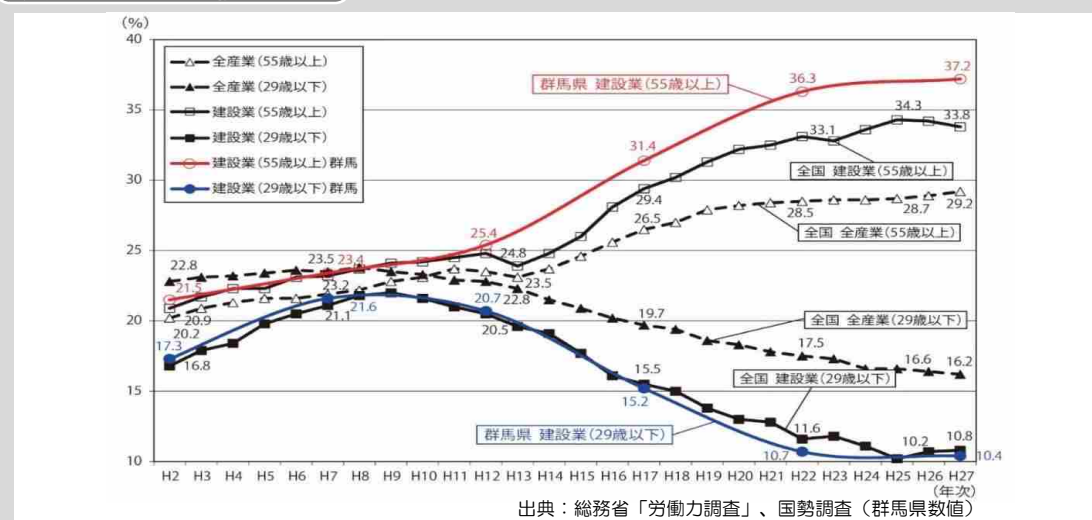
本県の建設投資額や建設業者数は、ピーク時から大幅に減少しており、建設業就業者数もピーク時（平成7年度国勢調査）から30%減少しています。また、全国平均よりも、就業者の高齢化率が高く、若者（29歳以下）の割合が低くなっています。

今後、生産年齢人口が減少する中で、限られた人材によって社会資本の効率的・効果的な整備や維持管理を図っていく必要があります。

本県の建設投資、建設業者数、就業者数の推移



建設業就業者の年齢構成の推移



方策1 建設産業の働き方改革

取組1 長時間労働の是正

(1) 週休2日制現場の導入

建設産業をより魅力あるものにし、将来の担い手となる若手技術者や女性技術者を確保するため、週休2日制モデル現場の試行など、労働環境の改善に向けた取組を支援します。

(2) 適正な工期設定

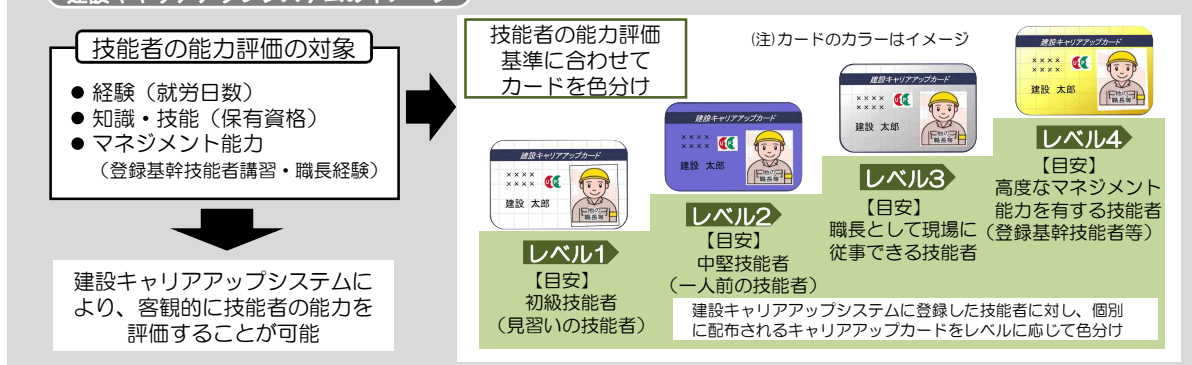
現場技術者や下請けの社員、技能労働者などを含めた建設工事に従事する全ての人たちが工期に追われ、時間外労働上限規制に抵触するような長時間労働を行うことがないように、建設工事従事者の休日確保（週休2日等）や天候による作業不能日などを加味した適正な工期を設定します。

取組2 現場の処遇改善

(1) 建設キャリアアップシステム※の活用促進

技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保するため、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積するシステムの活用を促進します。

建設キャリアアップシステムのイメージ



(2) 若手技術者・女性技術者の働きやすい環境の整備

若手技術者・女性技術者が働きやすい職場にしていけることで、現場の環境や建設産業のイメージ、仕事の進め方に変化をもたらし、性別・年齢を問わず意欲のある担い手の確保・育成につなげる現場環境の改善に取り組みます。

快適トイレ※



女性による環境すみずみパトロール



(3) 外国人材の活用

建設分野の深刻な人材不足を解消するため、今後増加が見込まれる外国人材活用に向けた受入れ環境の整備を進めるとともに、受入れの円滑化及び適正化に取り組みます。

※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

方策2 建設現場の生産性向上

取組1 地域にあったICT*技術の活用促進

(1) ICT活用工事による作業プロセスの効率化

公共工事における作業プロセスの効率化による、建設現場の生産性向上を図るため、ICT技術の積極的な活用を促進します。測量から施工・検査に至る全てのプロセスにおいて、ICT技術を全面的に活用する「ICT活用工事」などに取り組みます。

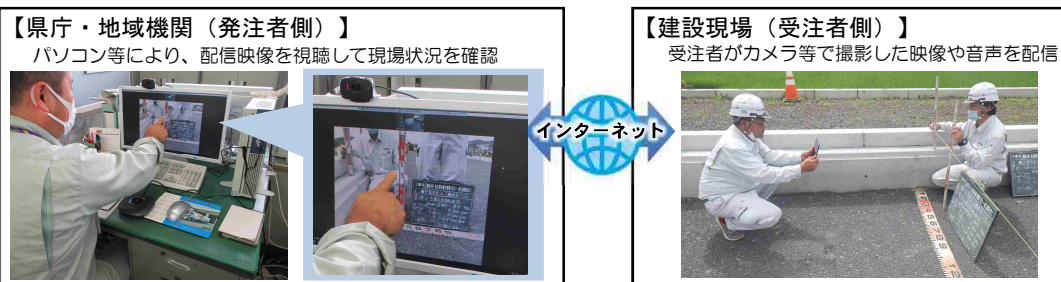
ICT活用工事のイメージ



(2) 非接触・リモート型の働き方への転換

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や、受発注者双方の業務効率化による更なる建設現場の生産性向上を図るため、現場で撮影した映像や音声をインターネットによりリアルタイムで配信し、遠隔で現場確認などを行う「建設現場のWeb監督」を新たに導入します。

建設現場のWeb監督のイメージ



※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

取組2 基準や施工方法の改善による生産性向上

コンクリートの流動性向上やコンクリート二次製品の活用など、コンクリート工事などの生産性向上に取り組み、作業員一人ひとりの作業負担の軽減や効率的な工法による現場作業の省力化・工期短縮を図ります。

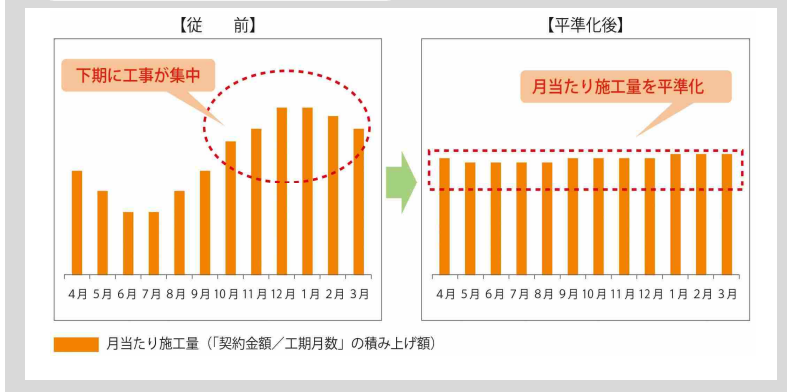
取組事例：群馬県型側溝の承認



取組3 施工時期の平準化

年間を通じた計画的な工事の受注や人員配置、資機材調達など、建設業者の経営の安定化に向けて、月当たり施工量が平準化されるよう発注計画の策定・公表を行います。あわせて、「フレックス工期※」や「余裕工期※」の活用により、受注者の観点からの施工時期の平準化を支援します。

月当たり施工量の平準化イメージ



【参考】世代別・対象者別の主な取組

新規入職促進		定着促進	
小学生・中学生	高校生・大学生	若手技術者	女性技術者
多様な広報の展開 インターンシッププログラム 		長期間労働の是正 週休2日制現場の導入・適正な工期設定	
生徒・保護者への説明会 		現場の処遇改善 建設キャリアアップシステム※の活用促進 快適トイレ※ 環境すみずみパトロール	
女性技術者と女子高校生との意見交換会 		地域にあったICT※技術の活用促進 ICT活用工事 	
企業・就職情報誌の作成・配布		基準や施工方法の改善による生産性向上 群馬県型側溝承認 	
体験型現場見学会 		施工時期の平準化 発注計画の策定・公表、フレックス工期・余裕工期の活用	
リブランディングの推進			
建設産業の魅力を伝える イベントの開催 動画の配信		工事銘板※設置 	

※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

方策3 建設産業の魅力の発信

取組1 多様な広報の展開

(1) インターンシッププログラムの実施

建設産業の仕事の魅力ややりがいを伝えるため、土木系高校・大学生・高専生を対象とした学校実習や企業実習の取組、中学生を対象とした職場体験学習の取組を推進します。

中学生のインターンシップ



職場体験学習(土嚢製作体験)

高校生のインターンシップ



学校実習(鉄筋・型枠実習)



企業実習

(2) 生徒・保護者への説明会の開催

県内の建設業、測量設計業、公務員などの就業状況や仕事の魅力、やりがいを伝えるため、県内の土木系学科を有する高校において、2年生の生徒と保護者を対象に、県、建設業協会、測量設計業協会の3者で説明会を実施します。

生徒・保護者への説明会



説明会開催状況

(3) 女性技術者と女子高校生との意見交換会の開催

女性でも建設産業で活躍できることを実感してもらい、卒業後の進路として建設産業で働くことを選択するきっかけとなるよう、県内建設系学科の女子高校生と建設産業で活躍している女性技術者との意見交換会を開催します。

女性技術者と女子高校生との意見交換会



意見交換会開催状況

(4) 企業情報誌・就職情報誌の作成・配布

大学生や高校生等の県内建設関連企業への就職を支援するため、県内にどのような建設関連企業があるか、さらには、採用人数、職種、初任給などを掲載した情報誌「群馬県建設関連企業ガイドブック」を建設産業団体連合会等と連携し、作成・配布します。

群馬県建設関連企業ガイドブック



(5) 体験型現場見学会の開催

園児から大学生までを対象に、社会資本の役割や重要性、建設業の魅力ややりがいを伝えるため、体験型の工事現場見学会を開催します。

現場見学会の開催状況



ICT※建設機械見学(高校生)



ドローン操作体験(小学生)



建設機械操縦体験(保育園児)

※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

取組2 リブランディング*の推進

建設産業の「誇り」、「魅力」、「やりがい」の向上に向け、「社会資本の整備と維持管理の担い手」、「地域の安全・安心の守り手」として、建設産業の役割を関係者で共有するとともに、社会に対して提供する建設産業の新たな価値を明確化し、情報発信等に取り組みます。

(1) 土木構造物への「工事銘板*」の設置
構造物名や適用基準を記載し将来の維持管理を容易にするとともに、技術者の功績をたたえ、やりがいと意欲の向上を図るため、工事に携わった技術者名を記載した「工事銘板」を設置をします。



(2) 建設産業の魅力を伝える動画の配信
将来を担う子どもたちや、その保護者にも興味を持ってもらうため、土木施設や建設現場で活躍する技術者を紹介するテレビ番組の制作・放映や動画配信を通じ、建設産業の役割や魅力を広く伝えます。



(3) 建設産業の魅力を伝えるイベントの開催
将来を担う子どもたちや、その保護者にも興味を持ってもらうため、建設産業の仕事や役割だけでなく、その楽しさや魅力を知っていただくイベントや活動を展開します。

10年後の姿 (取組による効果)

群馬県がこんなに良くなるよ!

建設産業が持続的に発展!!
社会資本の整備や維持管理体制と
災害時に迅速な対応ができる体制を維持!!

SDGsの関連目標

4 質の高い教育をみんなに
【関連ターゲット】
4.4 2030年までに、技術的、職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を実現しよう
【関連ターゲット】
5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
5.c ジェンダー平等の促進、並びに全ての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化させる。

17 パートナーシップで目標を達成しよう
【関連ターゲット】
17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

* 用語の意味については、P144~P151の用語解説をご覧ください。